

トライトンブイ13号機の通信途絶について

1. 状 況

海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）のトライトンブイ（海洋観測ブイ）13号機（平成11年10月25日、北緯0度、東経138度に設置：図1）は、1月21日にデータ伝送用アンテナを取り付け、データ伝送機能を復旧しましたが（平成12年1月24日発表済）、2月10日21時00分に関根浜のむつ事務所にてデータ受信以降、再度通信が途絶えました。現在、関根浜観測機材整備場にて、ブイデータ処理班によるデータ処理システムでの監視を継続しております。

2. 原 因

原因としては、人為的破損等が考えられますが、遠隔地にあるため詳細は不明です。

3. 今後の予定

当該ブイは正常に係留されていることが確認されており、海洋データ（水中部）の観測は継続中です。今後、船舶による復旧作業等を行う予定です。

（日時は、全て日本時間）

問合せ先
海洋科学技術センター
研究業務部計画調整課 牛島
TEL 0468-67-3988
総務部普及・広報課 他谷、小林、木村
TEL 0468-67-3806

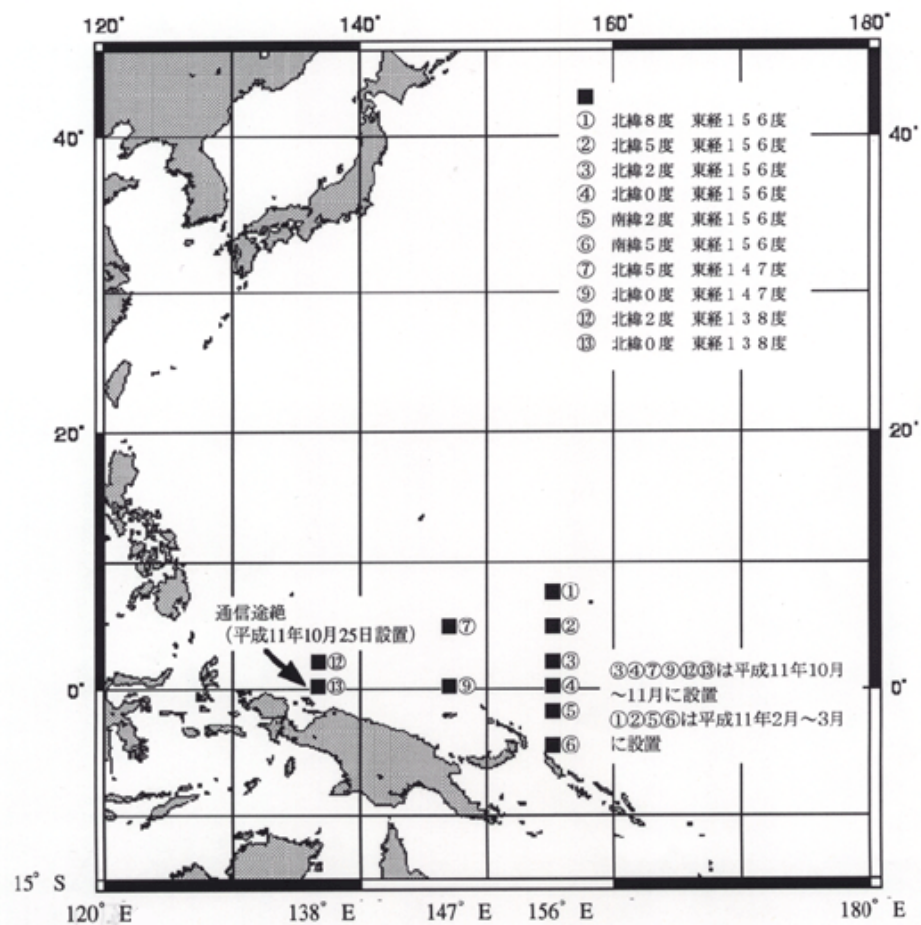


図 1

トライトンブイ 13 号機の損傷状況と修理概要

